

令和3年度 学校関係者評価及び改善策

(中間 **最終**)

白岳中学校区 校番 3 学校名 呉市立白岳中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・中期経営目標を受け、短期経営目標が設定され、それにかかわる方策・指標が具体的な取組内容と数値目標によって、明確されていて適切である。 ・生徒が主体的に学ぶ授業づくりやルールやマナーなど、規範意識を身につける指導の徹底を図るなど、思考力、判断力、表現力の育成を図る目標設定として適正だと思う。
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・短期経営目標達成のために、アプローチや方策を整理され、生徒や教職員に具体的で取り組みやすいものになっており、適切である。 ・生徒同士が互いに自分の考えを比較し、深め合うことで、自己決定できる力を養う授業づくりやキャリア教育によって、明確な目標をもつ生徒を育成する良い方策だと思う。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に設定した数値目標に対して、達成の割合をアンケート等で集約することによって、適正な結果の分析につながっている。また、分析の結果を踏まえた成果と課題も丁寧に整理されている。 ・分からないことを分かってもらう生徒は90%超、自主学習ノートの提出率は90%超、文化活動発表会に満足している生徒の割合は85.2%、部活動に満足している生徒の割合は91.2%と学校生活における生徒の充実度は高いと思われるので、分析結果としては適性だと思う。
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善策に、具体的なものが多く見られる。その一方、抽象的な改善策も若干あるので、生徒の実態に対応した具体的な対策を教職員で確認できるとよい。 ・分析結果にあるように、生徒が常に学びたくなるようなツールを用いた授業の進め方を工夫していくなどの改善策を通して、もっと達成度が上がっていくという意味では適切だと言えるのではないかと。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・取組の課題に対する改善策を考えていくことはもちろん、成果を上げた取組について、その要因を分析し、継続・発展をめざすことも必要と思われる。そのことが白岳中の良き伝統を作り上げていくと思われる。 ・コロナ禍、大変ですが、良い活動・指導だと思う。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・「自己評価」、「結果の分析及び今後の改善策」について、評価の在り方が適切であると概ね好評価を受けた。ただ、一部、改善策について、抽象的な改善策となっている部分については、今後学校全体で共有して、より具体的な改善策や目標値となるように研修を深めていく。 ・課題の分析だけでなく、成果の分析も十分に行い、成果を更に発展させるとともに、成果の工夫点を、課題を解決していく方策として活用していきたい。
--------------------	--